

明治大学未来サポーター募金

— 活動報告書2021 —

2021年4月 ▶ 2022年3月



明治から世界へ

一人ひとりの希望を育てる



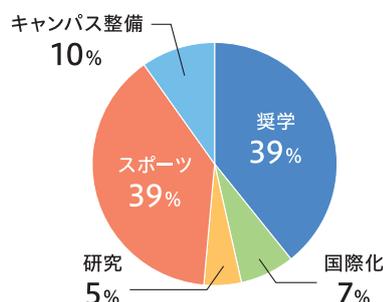
M
SUPPORTER

これまでに明治大学未来サポーター募金に頂戴したご寄付の実績と、各資金における2021年度の活動結果をご報告いたします。皆様のご意思が大学の活動にどのように活用されたかを実感していただければ幸いです。今後とも末永く、本学のサポーターとしてご支援賜りますよう、お願い申し上げます。

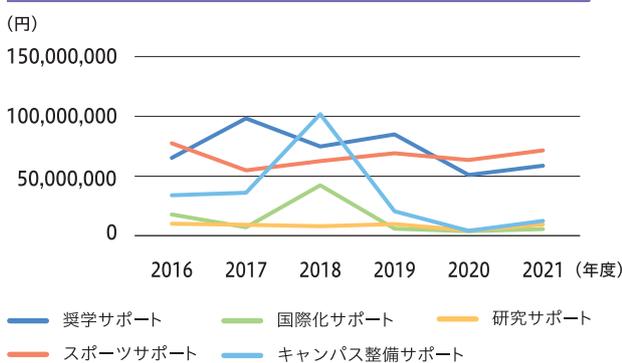
未来サポーター募金受付・実績

2021年度受付				
	個人	団体	法人	合計
件数	3,451	40	14	3,505
金額	¥145,513,999	¥4,838,777	¥7,300,000	¥157,652,776

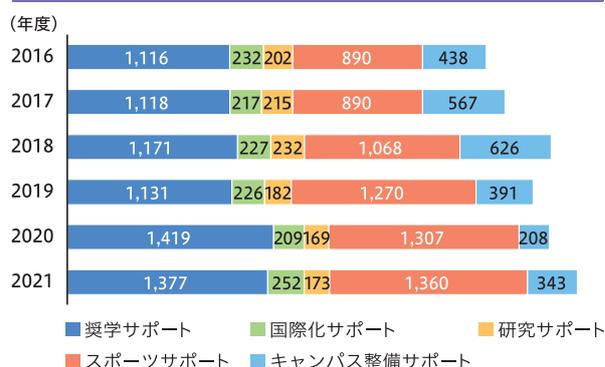
資金別受付		
	件数	金額
■ 奨学サポート資金	1,377	¥58,569,770
■ 国際化サポート資金	252	¥5,704,000
■ 研究サポート資金	173	¥9,423,500
■ スポーツサポート資金	1,360	¥71,478,281
■ キャンパス整備サポート資金	343	¥12,477,225
合計	3,505	¥157,652,776



資金別受付金額年度別推移



資金別受付件数年度別推移



2021年度 未来サポーター募金 各資金別活用状況報告

Support 1 奨学サポート資金 一人でも多くの学生が安心して学業に取り組めるように

● 明治大学未来サポーター給費奨学生 58 人を採用

未来サポーター給費奨学生として奨学金を支給

明治大学給費奨学生のうち、家計収入が少なく、特に経済支援が必要な学生に対して、明治大学給費奨学金の給付額と、授業料年額 1/2 相当額との差額を奨学金として支給しました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、保護者の失職・収入減による経済困窮者が増加し、学生自身もアルバイト収入が減少するなど、厳しい家計状況が続いております。

学生の学びを求める気持ちに応えることが大学の使命として、今後も適切な資金計画の基に学生にとって有益な奨学金事業を推進してまいります。



◆本奨学金受給学生からのメッセージ
「感謝のこぼれ」

★奨学生の声を一部抜粋してご紹介いたします。

母子家庭で、兄と妹も学生であるため、アルバイトの掛け持ちなどで生活のやりくりにとっても苦勞していました。そんな中、このような温かいご支援をいただけることに、本当に感謝します。授業料の一部を給付していただくこととなり、とても助かりました。本当にありがとうございます。

大学の授業料は自分でやりくりしています。そのため1年生の時は、アルバイトに多くの時間を割く必要があり、勉学との両立が苦しい環境でした。ですが、ご支援をいただいたおかげで、自分の目標ややりたいことに対して時間を投資していると考えています。不安を少しでも減らして学問を続けられることを大変うれしく思います。今後もしっかりと学んで知識を深め、将来に役立てていきたいです。



Support 2 国際化サポート資金 明治から世界へ。世界から明治へ。

次の3つの国際化プログラムで資金を活用しました。

1 国際化サポート外国人留学生奨励金

本学に在籍する外国人留学生の学習奨励を目的として、成績優秀な外国人留学生 22 名に対し、奨学金を支給しました。

2 国際化サポート海外留学奨励金

国際化サポート海外留学奨励金として、実渡航またはオンライン留学プログラムを受講した学生 68 名に対し、奨励金を支給しました。

3 アンバサダーラウンジ運営費

日本人学生と留学生（主にマレーシアからの留学生）との交流促進、留学生の生活指導、就職支援等を図るため、交流会「アンバサダーラウンジ」を開催しました。



ブリティッシュコロンビア大学短期海外研修に参加した学生の報告書を一部抜粋してご紹介いたします。

■プログラムで学んだ内容及び学習成果

EI1 の授業ではカナダと日本の文化の違いだけでなく、様々な国の文化を英語で学び、イディオムや発音、文法を教わった。また、食べ物や映画、フォトエッセイなどをテーマとしたプロジェクトを行った。実際にグランビルアイランドというフードマーケットへ行き、グループに分かれて食べ物を調査して比較し、パワーポイントにまとめて発表したり、テーマを決めて写真を撮りに街へ出かけ、それに基づいて考えたことをフォトエッセイとしてディスカッションしたりした。オンラインではなく、現地に行ったからこそその学びがたくさん体験できてとても楽しく学ぶことができた。何でも英語で考える力を身につけることができたと感じる。

■今後の展望・目標、プログラム参加前と後での変化

私は今まで自分のやりたいことが明確に定まっていなかったが、今回の留学で大まかではあるが、目標ができたように思う。

もともと食に興味を持っていて、留学前はそれは単なる人並みな興味だと思っておりそれを学びとして真剣に考えたことはなかったが、留学中にモザイク国家であるカナダで多国籍な料理にたくさん触れ、食文化について学び、今後食に携わるような仕事に就きたいという目標が自分の中で芽生えた。

英語を学んだことと同時に様々な文化を知ることができたので私の中でこの留学はとても自分のためになったと感じる。これからも英語の学びを継続し、何か将来に繋がられるように頑張りたい。

政治経済学部 1 年（当時）



https://www.meiji.ac.jp/cip/report/report_short.html

国際化サポート海外留学奨励金の支援を受け、留学に挑戦した学生の声を紹介しております。

Support 3 研究サポート資金 最先端の研究を「明治」から

科学研究費助成事業「「基盤研究(C)」及び「若手研究」における独立基盤形成支援(試行)」に採択された廣瀬善大総合数理学部専任准教授の研究基盤整備支援費として活用させていただきます。

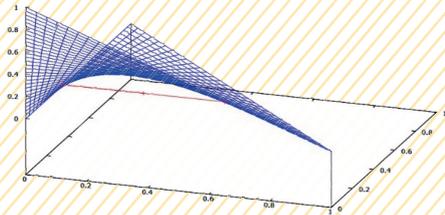
研究課題 「オッズ比の一致に関する情報幾何とベイズ統計」

研究概要 私は統計科学の研究を行っています。統計科学には理論から応用まで多くの面白い課題がありますが、本研究課題ではオッズ比と呼ばれる量に注目した研究を実施しています。オッズ比は、理論面では扱いやすい性質をもつ量であることが知られており、また医学など多くの応用分野でデータ解析の際に参照されています。本課題では、理論的には幾何学的なアプローチにより性質のさらなる解明を試み、さらにその成果をシミュレーション・データ解析につなげるよう取り組んでいます。



総合数理学部 廣瀬善大専任准教授

皆さまからご支援いただいた寄付金は、理論的な成果を応用に近づけるためのシミュレーション・データ解析を実行するために、計算用サーバ等の購入に活用させていただきます。統計科学は実社会からの問題意識を原動力にした学問ですので、社会へ還元される成果・技術を得られるよう研究を進めてまいります。



統計学で有名な「シンプソンのパラドックス」を情報幾何を使って表現したもの

※シミュレーション・データ解析のために計算用サーバー式の導入・整備を計画していましたが、世界情勢やコロナ禍等の影響で半導体が不足しており、希望する構成・仕様の同装置一式の発注が困難な状況でした。2021年度の導入を見送り、2022年度以降に導入・整備する予定で計画を進めてまいります。

Support 4 スポーツサポート資金 トップアスリートの育成を目指して

次の16部及び体育会全般で資金を活用しました。

部名	活用内容
端艇部	新艇 (Filippi 2x) 購入費
柔道部	奨学金支給 (柔道部内規)
競走部	長距離ブロック夏合宿宿泊費、高跳び用具購入費
硬式野球部	環境整備費 (合宿所、トレーニングルーム等の抗菌加工コーティング工事)
馬術部	馬場馬術競技の競技馬購入費
ラグビー部	環境整備費 (合宿所改修工事)
スキー部	ハンドストラクチャー (ワクシング道具)、テストスキー (スキー板) 購入費
自動車部	競技車の部品及びタイヤ、移動用の部車 (日産NV200バネット) 購入費
航空部	新機体 (ASK21B) 購入費
レスリング部	内閣総理大臣杯全日本大学レスリング選手権大会旅費交通費
アメリカンフットボール部	スポッターシステム購入費
ハンドボール部	全日本ハンドボール選手権旅費交通費
ヨット部	セール購入費
アーチェリー部	テント (3張)、低ポンドリカーブリム (10本) 購入費
自転車部	トラックレース用決戦タイヤ (32本)、タンデム車用車輪 (1セット)、無線機セット購入費
明大スポーツ新聞部	環境整備費 (モニター、デスク、イス等の購入)

端艇部

新艇を全日本選手権大会兼全日本大学選手権にて使用しました。



柔道部

全日本学生柔道体重別団体優勝大会で準優勝を収めました。



競走部

関東インカレ1部昇格、全日本大学駅伝シード権獲得につながりました。



硬式野球部

リーグ戦連覇、そして日本一を目指して鍛練してまいります。



馬術部

全日本大会で優勝した実績のある馬です。学生戦でも優秀な成績を残してくれると期待しています。



ラグビー部

全国大学選手権で準優勝を収めました。「大学日本一」を目指して精進してまいります。



スキー部

充実した環境のもと、練習、試合に取り組むことができました。



自動車部

全日本学生ジムカーナ選手権大会で団体6位に入賞しました。



航空部

より一層の訓練の効率化、そして部の発展につなげてまいります。



レスリング部

内閣総理大臣杯全日本大学レスリング選手権大会で7位、近年で最も良い成績でした。



アメリカンフットボール部

関東1部リーグTOP8で4位の成績を取ることができました。



ハンドボール部

リーグ戦や全日本選手権での優勝を目標に練習に取り組んでいます。



ヨット部

全日本インカレに新しいセールで臨むことができました。



アーチェリー部

斜線上にテントを常設したことで天候に左右されず充実した練習ができるようになりました。



自転車部

大学対抗選手権での総合優勝を目指し、努力してまいります。



明大スポーツ新聞部

明大体育会の今を伝えられるよう精進してまいります。



* 体育会各部の成績・大会スケジュールは、「明治大学スポーツ ホームページ」及び「MEIJI NOW」でご覧いただけます。

Support 5 キャンパス整備サポート資金 学びの場のさらなる充実のため

本学の長期ビジョン（世界へ－国際人の育成と交流のための拠点 世界で活躍する強く輝く「個」を育てる教育研究の実現）の実現を具体化するため策定した明治大学中期計画第2期（2018～2021年度）及び2021年度予算をもとに、岸本ホールの内装改修工事のほか、ラウンジZERO整備に係る工事に一部充当いたしました。

また、コロナ対応の一環として行った和泉地区及び生田地区の換気設備の増強工事にも一部充当いたしました。

キャンパス整備サポート資金を活用することにより、快適で安全な教育・研究活動環境の提供に繋がっております。

なお、未充当のものについては、引き続き明治大学中期計画第3期（2022～2026年度）によって計画・実施される事業のために積み立てさせていただきます。



Supporter's Voice

寄付者の皆様より温かい応援メッセージをいただいております。

その中から一部ご紹介させていただきます。皆様からいただくお声は活動の励みとなっております。

先行きが不透明な時代ですが、今は惑うことなく勉学に励み、これからは若い力で日本を引っ張って欲しいものです。

明治は一つ。
力を合わせて
がんばりましょう！

在学中4年間給付奨学金を受け、卒業することができました。今でも感謝の気持ちでいっぱいです。また機会を見て寄付に参加させていただきます。

1日1日を大切に
積み重ねて下さい。

卒業生、在学生、教職員の方々の活躍をメディアで見る度に励みにして自分もキャリアを築いて来ました。これから長い人生、明けない夜はありません。

予選会での圧倒的なチーム力の高さに興奮し、箱根での揺るがず前を向く姿に勇気をもらいました。ありがとうございます。

一人でも多くの若者たちが教育の機会を得られるように、微力ながら支援させていただきます。

明治大学のお陰で今があります。今後も母校が素晴らしい存在でいてくれる事を祈念します。

未来サポーター募金 お申し込み方法のご案内

未来サポーター募金は、明治大学が重点的に取り組むテーマの中から寄付金の使い道を、寄付者の皆さまがご指定いただける寄付制度です。指定可能な使い道は、「奨学」「国際化」「研究」「スポーツ」「キャンパス整備」の5つです。

皆さまが、より一層の成長・充実を望む分野を指定してご寄付いただくことで、明治大学を応援いただいているその思いが直接届く仕組みです。明治大学のさらなる飛躍と発展のために、皆さまからのご支援とご協力をお願いいたします。

●募金期間 4月1日～翌年3月31日（毎年度）

●受付金額 一口1万円 一口以上何口でも結構です。

また、一口1万円未満でもありがたくお受けします。

●税制上の優遇措置

明治大学への寄付は「所得税控除」及び「住民税控除（居住地によります）」を確定申告により受けることができます。（寄付額の40%～50%相当額の税負担軽減）

▼お申し込み方法

① 専用払込取扱票によるお申し込み

② 口座振替によるお申し込み

一度お申込み頂くと、継続的に金融機関口座から自動引き落としが可能です。「預金口座振替依頼書【指定寄付金申込書】」はHPよりダウンロードいただけます。

③ インターネットからのお申し込み

クレジットカード、インターネットバンキングを利用した決済が可能です。

税制上の優遇措置

▼個人の場合

1 **所得税控除** 「税額控除」または「所得控除」のいずれかの制度を選択可能 **個人の所得状況に応じ、一定の限度額があります**

① 税額控除制度

寄付金額*1から2,000円を差し引いた額の40%に相当する額が、当該年の所得税額から控除されます。所得税率に関係なく所得税額から直接控除されるため、多くの場合において所得税除よりも減税効果が大きくなります。

$$(\text{寄付金額}^*1 - 2,000\text{円}) \times 40\% = \text{所得税控除額}^*2$$

*1 その年の総所得金額等の40%が上限 *2 所得税控除額は、その年の所得税額の25%が上限

② 所得控除制度

寄付金額*1から2,000円を差し引いた額が、当該年の所得から控除されます。所得控除を行った後に所得税率をかけるため、所得金額に対して寄付金額が大きい場合には減税効果が大きくなります。

2 住民税控除

次の都道府県・市区町村にお住まいの個人の方は、住民税控除も合わせて受けることができます。

- 都道府県(寄付控除率4%)：東京都、神奈川県 ※ただし、神奈川県政令指定都市にお住まいの方は2%
- 市区町村(寄付控除率10%)(都県分含む)：杉並区・中野区・調布市(東京都)、川崎市(神奈川県)

$$(\text{寄付金額}^*3 - 2,000\text{円}) \times \text{住民税控除率} = \text{住民税控除額}$$

*3 その年の総所得金額等の30%が上限

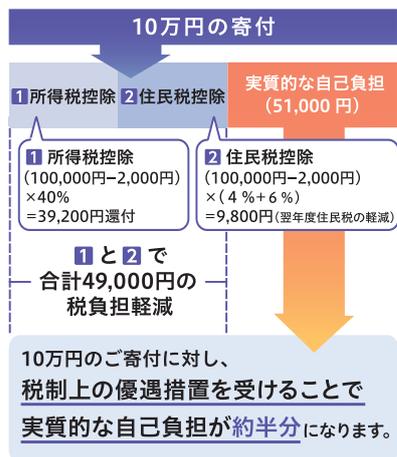
※市区町村によっては、「都道府県の指定を以て、市区町村の指定とする」と定めている自治体もあります。詳細について、お住まいの自治体の市区町村民税担当部署へお問い合わせください。

※②住民税控除の対象とならない自治体にお住まいの場合は、①所得税控除のみ適用となります。

※確定申告をせず住民税の寄付金控除のみを受ける場合は、各自治体に申告してください。

最大で寄付額の約50%相当額の
税負担軽減

(具体例) 東京都杉並区在住のMさんが本学に10万円寄付し、翌年に税額控除制度で確定申告をした場合



▼法人の場合

1 「受配者指定寄付金」 …………… 寄付金額全額を損金算入できます。

2 「特定公益増進法人に対する寄付金」 … 一般の寄付金の損金算入限度額と別枠で損金算入できます。

寄付者顕彰制度

各種寄付制度への寄付の総累計額を基準として適用となる顕彰制度です。皆さまからの寄付金は、教育研究の発展のため、有効に活用させていただいております。

◆名譽称号のご案内

累計寄付金額に応じて、名譽称号が授与されます。

寄付の累計額	名譽称号の種類
1億円以上	特別紫紺賛助員(とくべつしこん)
1000万円以上	紫紺賛助員(しこん)
500万円以上	暁鐘賛助員(あけのかね)
100万円以上	白雲賛助員(しらくも)



◆各種礼遇のご案内

- ① 学内諸行事へのご招待 (ご招待する行事は、称号により異なります)
- ② 学内刊行物の贈呈(「明治大学広報」と「広報誌『明治』」)
- ③ 広報誌「明治」への芳名掲載(暁鐘賛助員以上)
- ④ 寄付者総合銘板*への芳名掲載(紫紺賛助員以上) (*駿河台・リパティタワー23階)



学校法人明治大学 大学支援事務室

〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1 大学会館3階

TEL: 03-3296-4057・4059 E-mail: bokin@mics.meiji.ac.jp

